

2018年6月11日

アメリカ合衆国大統領  
ドナルド・トランプ 殿

平和と民主主義をめざす全国交歓会

共同代表 山川よしやす

〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目 6-21

TEL(携帯):090-8536-3170

FAX:06-6934-8112

**私たちは、朝鮮人民民主主義共和国との対話による平和外交に徹し、米朝両国の国交正常化を望む  
板門店宣言と米朝首脳会談開催を支持し、年内の朝鮮戦争終結・平和協定締結を求める  
東アジアの完全非核化から緊張緩和と軍縮・平和への道を選択することを求める**

米朝首脳会談が当初の予定通り、6月12日に開催されることになった。

あなたは、朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の金英哲党副委員長と会談後、「6月12日は新たな関係の始まりになるだろう」「対北朝鮮制裁を解除する日を楽しみにしている」と語り、6月7日の日米首脳会談では安倍首相に、「最大の圧力という言葉はもう使わない」「我々は(朝米首脳会談で)朝鮮戦争の終戦に対する合意に署名することができるだろう。それ(終戦合意)は本当の始まりだ」「私は、はっきりとそれ(国交正常化)をすることを望んでいる」と述べた。

私たちはこれを心から歓迎する。歴史的な米朝首脳会談が成功し、大きな成果を上げることを望んでいる。

世界の人々は、5月24日に公表されたあなたの「米朝首脳会談」中止書簡に対して批判的であった。朝鮮は、異例のスピードで対応し、「我々はいつでも、どんな形でも向かい合って問題を解決していく用意がある」と対話の意志を表明した。また、韓国・中国・ロシア・EU各国など世界の国々は、戦争を回避する米朝対話を切望していた。あなたの「米朝首脳会談の中止」書簡を唯一支持した国は、日本政府しかなかった。まったく恥ずかしいことであるが、安倍政権は平和の破壊者であることを世界中の人々に宣言した。

私たちは、2018年が東アジアと世界の平和と民主主義を実現していく大転換点の年になると考える。

米朝首脳会談の開催は、4月27日、韓国・文在寅大統領と朝鮮・金正恩朝鮮労働党委員長によって行われた南北首脳会談で確認された、「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」に基礎をなしている。宣言は、「南と北は、休戦協定締結65年となる今年、終戦を宣言し、休戦協定を平和協定に転換し、恒久的で強固な平和体制を構築するため、南北米3者、または南北米中4者会談の開催を積極的に推進していくことにした」と世界に発信された。

朝鮮戦争の年内終結から平和協定の締結と朝鮮半島の完全な非核化は、東アジア全体の軍縮・平和への展望を示している。「板門店宣言」の確認事項を、より具体的な形として示していただきたい。国交を結び、朝鮮戦争の終結宣言から平和協定の締結へと進むことを願っている。

朝鮮戦争が終結すれば、国連軍として韓国や日本に駐留している在韓・日米軍の縮小・撤退も検討の対象となる。在日米軍基地のうち、7カ所(キャンプ座間、横須賀海軍施設、佐世保海軍施設、横田飛行場、嘉手納飛行場、普天間飛行場、ホワイト・ビーチ地区)は、国連軍施設である。これらの縮小・撤去を直ちに進めていただきたい。

また日本の京丹後などに配備されたXバンドレーダー基地も必要はない。辺野古新基地建設も中止すべきである。

東アジアの緊張緩和が前進する一方で、あなたは安倍首相と同じく平和の敵対者であることも明らかとなっている。イランとの核合意から一方的に離脱し、シリア、パレスチナ、イラク、シリアなど中東での軍事対立をあおっている。新型核兵器を開発し、新たな核軍拡競争を引き起こそうとしている。緊張緩和が進む朝鮮半島にTHAADを強行配備し、北東アジアでの中国・ロシアを含む軍事対立を強めようとしている。

これらの動きは、直ちに辞めなければならない。

米朝首脳会談に臨むのは、あなたと金正恩委員長である。しかし、北東アジアの平和を実現する力は、その地域で暮らすアジア市民の意思に依拠するものである。平和と民主主義を求める全世界の人々が、あなたに注目している。あなたが徹底して『平和への道』を歩むことを期待している。